

中学生及び保護者の皆様へ

教務部学校説明会担当

■第2回学校説明会での質問事項の回答（第2弾）「本校の外国語教育」

今回は「本校の外国語教育」についてのご質問に回答させていただきます。

Q、外国語科の第2外国語の4言語の選択の割合が知りたい。

A、学年や時代の流れなどにより、割合は変わる傾向にあります。

Q、英語でのコミュニケーション能力が追い付くか心配ですが、様々な研修を通して出来るようになるか。

A、本校は英語の授業は基本的な英語で行っており、授業ではいろいろな活動を行います。課題や活動にその都度確実に取り組んでいくことが大切です。振り返りを通して自分自身の課題を見つけ、先生や仲間からフィードバックをしてもらいながら、力を伸ばしていくことができます。

Q、英検等の対策は授業の中で取り組まれたりしているのか。

A、授業は、リーディングやリスニング、スピーキングやライティングなどのそれぞれの活動が、言語の運用力を伸ばすために目的をもって構成されています。授業内の活動や出される課題などに確実に取り組むことで、英検等の検定試験にも対応できる力をつけることができます。

Q、CLILとは具体的にどのような内容か。

A、Content and Language Integrated Learning の略で、日本語では「内容言語統合型学習」と呼ばれています。様々な教科で学習している「内容」を「英語で」学習します。学習する内容は、世の中で起こっていることの全てが対象となり、その内容は教科横断的でもあります。文系の生徒も「自分は文系だから」と自らの可能性を狭めたりすることなく数学的、理学的視点を持つべきであり、理系の生徒も、歴史や経済の知識を活かすなど、より多くの観点を持つほうが良いでしょう。世の中で起こっていることをより良く知るために、外国語（英語）の学習を行うという考え方です。世の中の様々な分野についての知識を深め、それぞれの分野に関連する英語表現を学ぶことが、英語力の伸長に繋がると考えています。

Q、授業の中でプレゼンテーション、ディスカッション、ディベート等の活動が多いのか。

A、リサーチやリーディングなど、インプットの活動を十分に行い、そのうえで発信型の活動を行っています。

Q、コミュニケーションが苦手な生徒等への対応は？（全ての生徒に積極的な活動を促すのか）

A、コミュニケーションのスタイルには、個人により違いがあります。すべての生徒に促すのは、「必要なことを必要に応じて適切に表現する」ということです。
必ずということはありません。

Q、第2外国語を学ぶとき、1年生の時に決めたものを3年間学ばないといけないのか。それとも毎年決めるのか。

A、外国語科は、入学時に決めた言語を3年間学びます。

Q、英語キャンプは具体的にどのようなことをするか。

A、約10人ほどのグループに分かれて、ゲームやプレゼンテーションなどを行います。朝から夜までネイティブの先生方と一緒に過ごし、英語を使用して活動します。

Q、ENGLISH LUNCHは誰でも出来るのか。

A、「ENGLISH LUNCH」とは、ALTの先生方と英語で話しながら一緒にお昼ご飯を食べることで、普通科や外国語科、学年を問わず、誰でも参加できます。